

THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

No. **723** January 2019

大原社会問題研究所雑誌

大原社会問題研究所雑誌

723 2019.1

七三三号
【特集】ワーク・ライフ・バランスとは何か——各学問分野の知見と政策課題

二〇一九年一月

Special Issue : Multidisciplinary Approach for a New Understanding of Work-Life Balance

- Introduction to the Special Issue OISHI Akiko
 The Concept of Work-Life Balance in Sociological Research TSUTSUI Junya
 An Economic Perspective on Work-Life Balance OISHI Akiko
 Work-Life Balance in Business and Management Studies KAMBAYASHI Norio
 Work-Life Balance in Home Economics SHIGEKAWA Junko
 Work-Life Balance in Occupational Health WATAI Izumi
 Work-Life Balance Concept in Japanese Employment Law MINAGAWA Hiroyuki

Article

- Distribution of Compensation Payment for Mine Closures in Japan's Coal
 Industry Rationalization Policy SHIMANISHI Tomoki

Book Reviews

- SAKURAI Keita, *Social Support for In-dependable Relationship*
 MATSUMOTO Ichiro
 FUKUMA Yoshiaki, *Media History of Working-Class Youth in Post-war Japan*
 KOBAYASHI Naoki

Bibliography of Publication on Labour and Social Issues

Monthly Research Meeting IIDA Miki

The Institute's Activities in September 2018

【特集】ワーク・ライフ・バランスとは何か——各学問分野の知見と政策課題

- | | | |
|-----------------------|-------|----|
| 特集にあたって | 大石亜希子 | 1 |
| 社会学におけるワーク・ライフ・バランス | 筒井淳也 | 4 |
| 経済学におけるワーク・ライフ・バランス | 大石亜希子 | 17 |
| 経営学におけるワーク・ライフ・バランス | 上林憲雄 | 28 |
| 家政学におけるワーク・ライフ・バランス | 重川純子 | 37 |
| 産業保健学におけるワーク・ライフ・バランス | 渡井いづみ | 45 |
| 労働法学におけるワーク・ライフ・バランス | 皆川宏之 | 52 |

■論文

- 閉山交付金制度による炭鉱閉山の金銭補償とその配分
 ——1960～80年代の北海道の事例を中心に
- 島西智輝 61

■書評と紹介

- 桜井啓太著『〈自立支援〉の社会保障を問う』
- 松本一郎 78
- 福間良明著『「働く青年」と教養の戦後史』
- 小林直毅 83

社会・労働関係文献月録 88

月例研究会 飯田未希 95

所報 2018年9月 96

OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342, Aiharamachi, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan

web site: <http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>

e-mail: oharains@adm.hosei.ac.jp

編集(兼)発行人
 法政大学大原社会問題研究所
 〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042(783)2305

定価1,000円(本体926円)
 年間購読 12,000円(税込)

発行/法政大学大原社会問題研究所

発売所/法政大学出版局 3330-55001-7710

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-17-1

TEL 03(5214)5540

郵便振替口座 00160-6-95814

一年間に起きた社会・労働分野の変化と
課題がわかる貴重なデータブック

最新2018年版 第88集

日本労働年鑑

法政大学 大原社会問題研究所 編

—おもな内容—

序章 政治・経済の動向と労働問題の焦点

〈特集〉

労働教育の現状と課題

第1部 労働経済と労働者生活

第2部 経営労務と労使関係

第3部 労働組合の組織と運動

第4部 労働組合と政治・社会運動

第5部 労働・社会政策

〈付録〉 労働組合の現状 / 労働組合名簿 / 統計・事項索引 / 年表

ハーバード大学歴史学教授(日本近現代史、労働史)

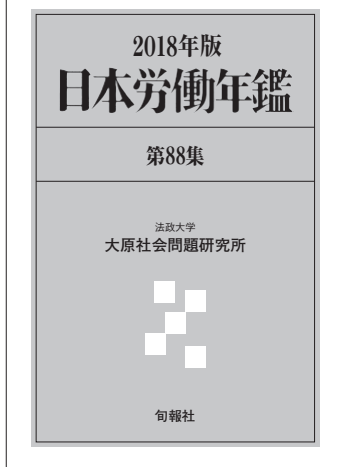
アンドルー・ゴードン

『日本労働年鑑』は、日本の社会、政治、社会政策の現在と過去の変容に関心のある人にとって貴重な情報源となります。過去50年で、おそらく今日ほど労働問題とそこから派生する経済、教育、社会福祉、社会運動の諸分野の課題が多くの人々の関心と呼んでいる時期はありません。私がこれらの問題について調べるとき、バランスのとれた詳しい情報源として最初に参照するのは『日本労働年鑑』です。

推薦
コメント

本年鑑5つの特徴

- ① その年に起きた社会・労働分野の変化や問題、課題を正確に記録、解説。「特集」と「5つの基本テーマ」で構成、収録。
- ② 特に重要なテーマについては、「特集」でさらに深く詳しく解説。
- ③ 政治・経済・経営・社会保障などの視点からも論述。
- ④ 理解が深まる豊富な図表とグラフ。
- ⑤ 社会全体の動きやポイントになる出来事を6つの分野に分けて「年表」で巻末に収録。



本体15,000円+税
A5判・上製・504頁

旬報社 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544 中川ビル4F
電話(03)5579-8974 FAX(03)5579-8975 http://www.junposha.com/

日本労働研究雑誌

No.702 2019年1月号

定価 852円+税 年間購読 11,040円(税込)

働き方改革シリーズ2「労働時間」

- 提言 裁量労働制の見直しに必要なこと 山口浩一郎
- 論文 労働時間規制改革の法的分析 和田 肇
- EU労働時間指令2003/88/ECの適用範囲と柔軟性
——沿革と目的、そして基本権を踏まえて 井川 志郎
- 働き方改革関連法による長時間労働是正の効果 山本 勳
- 労働時間の規制改革と企業の対応 小倉 一哉
- 自動車運転業務等の長時間労働是正にむけて 浅井 邦茂
- 働き方改革関連法の審議と労使関係——労働時間法制について 戎野 淑子
- 読書ノート 下山晴彦 監修 中野美奈 著
『ストレスチェック時代の職場の「新型うつ」対策
——理解・予防・支援のために』 深町 珠由
- 論文Today キャリア支援のための学習ゲーム 木村 知宏
- フィールド・アイ (ノルウェーから③) 小野坂優子

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23
☎03-5903-6255

労働の科学

Digest of Science of Labour

2018年12月号
73巻12号

12

定価 1,200円(税込)
年間購読 12,000円(税込)

【特集】自営業の安全と健康

- ◆農業従事者が安全健康に働く技術とこれからの農的社会的あり方……………上田 厚
- ◆建設業における一人親方の実態と労働組合の取り組み……………田久 悟
- ◆地域を支える自営業の安全衛生課題と支援……………柴田英治
- ◆大型ダンプドライバーの健康と安全な運行の課題……………飯野香織
- ◆労働者性概念のゆらぎと労働時間把握義務への影響……………和泉貴士
- ◆自営業者の産業安全保健向上と国際動向……………川上 剛
- ◆巻頭言〈俯瞰〉未来の自営業者の時代から産業保健へ切れ目のない健康管理の仕組みづくり……………岩谷美恵子
- ◆産業保健の仕事に携わって・5……………熊谷信二
- ◆凡夫の安全衛生記・24……………福成雄三
- ◆アーカイブを読む・40……………椎名和仁
- ◆にっぽん仕事唄考・63……………前田和男
- ◆織という表現・24……………阿久津光子
- ◆口絵 安全な運行とドライバーの健康のために輸送事業者の取り組み・12……………藤沢タクシー株式会社

〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷1-1-12 桜美林大学内3階 公益財団法人 大原記念労働科学研究所
TEL: 03-6447-1435 (事業部) FAX: 03-6447-1436 HP: http://www.isl.or.jp/